



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL http://www.yotai.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 馬場和徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社業務部長 (氏名) 金田修次 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,661	2.7	588	9.1	663	△1.0	448	△0.4
27年3月期第2四半期	10,379	2.1	539	58.5	670	49.9	449	27.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 432百万円(8.4%) 27年3月期第2四半期 399百万円(△43.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	20.38	—
27年3月期第2四半期	20.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,467	18,321	74.9
27年3月期	24,558	18,000	73.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 18,321百万円 27年3月期 18,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00			
28年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	0.4	1,250	6.0	1,350	0.3	900	△2.6	40.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	25,587,421株	27年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,602,573株	27年3月期	3,599,804株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	21,986,462株	27年3月期2Q	21,990,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、企業収益や雇用状況の改善など緩やかな回復基調ではあるものの、中国景気の減速や輸出の伸び悩み、原材料の高騰等により景気の先行きは不透明なままで推移いたしました。

一方、世界の経済状況は、米国においては、所得環境の改善等を背景に個人消費が堅調に推移しました。東南アジアにおいては、中国の過剰生産による安価品が市場にあふれ、企業業績は悪化に転じました。また、欧州金融市場の混乱等もあり、依然として本格的な回復に至っていません。

このような状況のもと、当社グループは、生産面では構造改革による生産効率の改善や品質向上等に取り組み、販売面では新製品の提案に重点を置いた積極的な営業活動を展開し、開発面では国際競争力を持つ新製品の開発やリサイクル技術の確立に鋭意取り組んでまいりました。また、中国子会社の生産品目の高付加価値化、販路の拡張、財務体質の改善及び生産設備の再構築に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は106億61百万円と前年同四半期に比べ2億81百万円の増収となり、営業利益は5億88百万円と前年同四半期に比べ49百万円増加し、経常利益は6億63百万円と前年同四半期に比べ6百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、4億48百万円と前年同四半期に比べ1百万円の減少となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（耐火物等）

耐火物等事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は91億0百万円となり、前年同四半期に比べ3億46百万円の増収、セグメント利益は10億27百万円となり、前年同四半期に比べ33百万円の増加となりました。

（エンジニアリング）

エンジニアリング事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億60百万円となり、前年同四半期に比べ65百万円の減収、セグメント利益は2億1百万円となり、前年同四半期に比べ1百万円の減少となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、244億67百万円であり、前連結会計年度に比べ91百万円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加5億45百万円、製品の増加1億94百万円等があるものの、現金及び預金の減少4億44百万円、電子記録債権の減少2億42百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億15百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、61億45百万円であり、前連結会計年度に比べ4億12百万円減少しました。これは主として、買掛金の減少2億33百万円、未払消費税等の減少1億7百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、183億21百万円であり、前連結会計年度に比べ3億21百万円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加3億38百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は74.9%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は28億42百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より2億54百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は27百万円となりました(前第2四半期連結累計期間は10億49百万円の資金の獲得)。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億62百万円があるものの、売上債権の増加額2億92百万円、法人税等の支払額2億81百万円、仕入債務の減少額1億91百万円によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての獲得した資金の減少は、売上債権が減少したものの、仕入債務の減少、たな卸資産の増加、法人税等の支払額が増加したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億94百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比73百万円の増加)。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億91百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、有形固定資産の取得による支出が増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億22百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比0百万円の増加)。これは主に、配当金の支払額1億9百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、自己株式の取得による支出が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,287,725	2,842,980
受取手形及び売掛金	8,750,647	9,296,594
電子記録債権	616,408	374,265
製品	2,281,580	2,475,633
仕掛品	514,287	523,313
原材料及び貯蔵品	1,881,548	1,765,878
その他	247,318	264,866
貸倒引当金	△2,081	△2,123
流動資産合計	17,577,435	17,541,408
固定資産		
有形固定資産	4,346,669	4,360,696
無形固定資産	64,574	62,154
投資その他の資産		
投資有価証券	2,459,822	2,398,192
その他	133,470	128,731
貸倒引当金	△23,666	△23,974
投資その他の資産合計	2,569,625	2,502,949
固定資産合計	6,980,869	6,925,801
資産合計	24,558,305	24,467,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,091,319	2,857,861
未払法人税等	304,381	231,608
賞与引当金	—	297,700
役員賞与引当金	21,990	10,992
その他	1,544,787	1,194,124
流動負債合計	4,962,477	4,592,286
固定負債		
退職給付に係る負債	1,255,368	1,257,522
その他	340,407	295,689
固定負債合計	1,595,776	1,553,212
負債合計	6,558,254	6,145,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	13,037,715	13,375,841
自己株式	△689,725	△690,739
株主資本合計	16,752,976	17,090,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	924,038	874,365
繰延ヘッジ損益	2,718	△1,661
為替換算調整勘定	406,265	438,074
退職給付に係る調整累計額	△85,946	△79,156
その他の包括利益累計額合計	1,247,074	1,231,622
純資産合計	18,000,051	18,321,711
負債純資産合計	24,558,305	24,467,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,379,735	10,661,143
売上原価	8,762,612	8,978,889
売上総利益	1,617,122	1,682,254
販売費及び一般管理費	1,078,020	1,093,902
営業利益	539,102	588,351
営業外収益		
受取利息	3,882	6,578
受取配当金	29,049	32,645
為替差益	1,019	11,117
不動産賃貸料	10,920	10,167
受取保険金	78,530	—
その他	9,725	16,512
営業外収益合計	133,128	77,022
営業外費用		
支払利息	1,282	503
その他	823	1,411
営業外費用合計	2,105	1,915
経常利益	670,125	663,459
特別利益		
固定資産売却益	13,138	300
特別利益合計	13,138	300
特別損失		
固定資産売却損	248	342
固定資産除却損	196	1,029
特別損失合計	445	1,371
税金等調整前四半期純利益	682,817	662,388
法人税、住民税及び事業税	247,800	214,600
法人税等調整額	△14,651	△275
法人税等合計	233,148	214,324
四半期純利益	449,669	448,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,669	448,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	449,669	448,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,330	△49,672
繰延ヘッジ損益	13,965	△4,380
為替換算調整勘定	△67,941	31,809
退職給付に係る調整額	4,825	6,790
その他の包括利益合計	△50,479	△15,452
四半期包括利益	399,189	432,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,189	432,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,817	662,388
減価償却費	289,484	297,260
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△928	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,993	2,154
賞与引当金の増減額(△は減少)	310,650	297,700
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,874	△10,998
受取利息及び受取配当金	△32,932	△39,224
受取保険金	△78,530	—
支払利息	1,282	503
固定資産売却損益(△は益)	△12,889	41
固定資産除却損	196	1,029
売上債権の増減額(△は増加)	△508,448	△292,343
たな卸資産の増減額(△は増加)	220,422	△75,993
仕入債務の増減額(△は減少)	202,236	△191,858
その他	5,475	△435,736
小計	1,054,969	214,892
利息及び配当金の受取額	32,932	39,224
利息の支払額	△1,282	△503
災害による保険金収入	78,530	—
法人税等の支払額	△115,617	△281,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,049,532	△27,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	14,679	1,367
有形固定資産の取得による支出	△229,427	△291,367
投資有価証券の取得による支出	△4,323	△4,672
会員権の取得による支出	△2,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,571	△294,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△312	△1,013
配当金の支払額	△110,294	△109,960
その他	△11,507	△11,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,114	△122,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,430	△143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	711,275	△444,745
現金及び現金同等物の期首残高	2,386,273	3,287,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,097,549	2,842,980

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,754,138	1,625,596	10,379,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,754,138	1,625,596	10,379,735
セグメント利益	993,939	202,510	1,196,449

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,196,449
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△657,346
四半期連結損益計算書の営業利益	539,102

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,100,715	1,560,428	10,661,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,100,715	1,560,428	10,661,143
セグメント利益	1,027,216	201,000	1,228,217

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,228,217
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△639,865
四半期連結損益計算書の営業利益	588,351

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。